

全国グループホーム団体連合会は「利用者と家族、そして介護職員が地域で安心して暮らし続けられるため」に全国の各都道府県にて活動している協会・協議会・連絡会等が全国都道府県単位で国にグループホームの未来の姿を介護保険制度改正への提言、現行介護保険法への制度改正を実施されることへの提案を事業所一つひとつの取りまとめを行い（アンケート調査等）を実施し、（政策・制度委員会が中心となり）委員会活動を開催して、提案を取りまとめ皆様の意見を提言としてまとめ（連合会の代表者会議を開催し）国に提案をしていきます。

この10年、介護保険制度の導入により高齢者介護は確実に発展を遂げてきました。特に「高齢者の尊厳を支えるケアの確立」を目指して、地域包括ケア体制や地域密着型サービスが体系化されたことは、「年老いても、認知症になっても、住み慣れた地域で安心して暮らせる」という支援目標が明確になり、「利用者本位」の実現への大きな一歩だったと言えます。

これからの10年に向けて、これからの介護保険の中で地域密着型サービス事業者としてのあり方を考えなければなりません。

認知症の人が地域で暮らし続けることを支える住まいとして、また地域や時代の多様なニーズに対応し得る必要不可欠な社会資源として、未来のグループホームの姿を描きながら、全国で同じ考えを持った他の団体等と連携も考えながら共通の意識を持ち活動していく連合会を目指していきます。

今後も各地域都道府県の地域性や意見などを反映できるよう、各連絡会からの要望内容などを取りまとめ、未来にむけて検討を重ねて参りたいと思っております。

今後の政権運営の中で我々と語り合う機会を設けていただき、地域の現場の声を、国にお届けできたらと考えております。

どうぞ、みなさまのご意見をお聞かせいただければ幸いです。



全国グループホーム団体連合会  
代表 加藤 和也

ホームページにて情報発信中です  
全国グループホーム団体連合会ホームページ  
<http://gh-japan.net>

## 活動組織一覧

### 《総務部会》

-総務委員会-[委員長]芳賀 康夫（総務担当業務執行理事）[副委員長]杉谷 操・福島 誠-[委員]水谷 裕恵・数馬 愛子・高橋 佳三・平山 洋一

### 《研修部会》

-指導者研修委員会-[委員長]佐々木 幸子[委員]釜谷 薫・江上 秀幸・青山 由美子・住友 幸子・姉崎 重延・池田 昭子・藤井 範子・菊地 伸 [サポート委員（指導者）]林崎 光弘・大久保 幸積・武田 純子・宮崎 直人・加藤 和也・瀬戸 雅嗣

### 《事業部会》

-公益活動委員会-[委員長]小原 陽一（事業担当業務執行理事）[副委員長]高橋 芳美・森山 伸広[委員]橋本 武雄・寺澤 道恵

-総合研究委員会-[委員長]小林 英昭

### 《特別事業部会》

-北海道大会実行委員会-[大会長]宮崎 直人[実行委員長]副会長 加藤 和也（総務）・副会長 小林 達生（会場・設営）・副会長 中村 久子（運営）[実行委員]全理事（順不同・敬称略）

## 編集後記

この度、一般社団法人北海道認知症グループホーム協会として、大空と希望を発行することが出来ました。この度の大空と希望では、北海道認知症グループホーム協会が、どのような活動を行っているかや各ブロックの活動、そして、全国とのかかわり等の活動内容を掲載させて頂きました。会員様や多くの方々に、当協会の活動を知って頂きご理解を頂き、ご活用頂けたら幸いです。大空と希望を発行させて頂きました。

総務委員長 芳賀 康夫



# 大空と希望

一般社団法人 北海道認知症グループホーム協会  
広報誌「大空と希望」  
発行責任者 芳賀 康夫  
No.3 2010年10月15日発行  
〒060-0001 札幌市中央区北1条西7丁目1広井ビル2F  
TEL (011)208-3320 FAX (011)204-7312  
URL <http://h-gh.net>

## 会長挨拶 理念「5つの提言」

日頃より当協会運営に際しまして多大なるご支援、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、一般社団法人北海道認知症グループホーム協会は、NPO法人北海道認知症高齢者グループホーム協議会の「公益法人化」を旗印に設立された新たな人格を持った法人として生まれました。わが法人の歴史は、任意団体として発足し、NPO法人へと移行してからも歩み続け、10年という時を経過しました。時には苦しく、時には厳しく、時にはやさしく包み込まれてきた歩みでもありました。

また、この歩みは、介護保険制定の歴史と重なり、「認知症」を取り巻く環境も大きく変化しつつ、更なる変容を遂げ続け、先輩諸兄の情熱と何事にも怯まず前に進んできた歩みでもありました。この歩みを止める事なく、更なる飛躍に向けて、過去の在り方を検証しつつ、現在の在り方を認め快善し、未来のグループホームの在り方へと共に考え、言葉にし、行動を起こしてゆくため「5つの提言」を当法人の理念として掲げ、これからの歩みの灯りといたします。

## 理念「5つの提言」

- 1) 認知症の理解が、それぞれの地域（まち）のブロック活動を通して、そこで暮らす方々に広く深く浸透される「公益ある」活動を行ないます。
- 1) 地域の中で、可能な限り最後まで支え続けられるよう、住民・行政・医療・福祉等の関係者が一体となった「公益ある」活動を行ないます。
- 1) 地域の中で24時間、認知症の「人」や「家族」を支える拠点として、他の事業者団体と共同した「公益ある」活動を行ないます。
- 1) 認知症の「人」を支える職員が、自らの資質の向上を図り、その仕事へのやりがいを感じ、長く生き生きと働き続けられる「公益ある」活動を行ないます。
- 1) 調査・研究を通して情報の共有を図ることによる「公益ある」活動を行ないます。



一般社団法人 北海道認知症グループホーム協会  
会長 宮崎 直人

## やさしい地域づくり・手紙 綴る広場 募集

### ～やさしい地域づくり～

長寿国家となった日本では、認知症の方の数は年々増加の一途をたどっています。

認知症は「他人事」ではなく身近にある病です。しかしながら、認知症の方を取り巻く環境は決して「快適」とは言えません。

認知症を理解し、認知症があっても安心して暮らすことができるやさしい地域づくりが急務となっています。

・「認知症を知り地域をつくる」キャンペーンの一環である「認知症でもだいじょうぶ町づくり」キャンペーンも開催され、認知症高齢者を支える環境整備が少しずつではありますがはじめてきています。

・我々、認知症対応型共同生活介護の事業所は地域密着型に位置づけられ、認知症介護の先駆けでもあることから、認知症高齢者が安心して生活ができる地域づくりにおいても大いに期待されているところです。

・私たちが日頃より行っている小さな小さな活動が、認知症があっても安心して暮らすことができる、やさしい地域づくりの第一歩となるのです。

・小さな取り組みを共有し、様々な地域で行動を起こすことにより、結果としてやさしい地域づくりにつなげていきたいと考えています。

### 募集などの詳しい内容は

詳しい応募要領などは、北海道認知症グループホーム協会のホームページをご覧ください。

URL <http://h-gh.net>

### ～手紙 綴る広場～

言葉で想いを伝えることはなかなか難しいものですね。でもそこにある便箋にエンピツで<ありがとう>と書く事は言葉で言うよりは素直に書けそうです。ちょっと素直になって大事な方へ、あなたの言葉を手紙に書いてみませんか。

世界でたった一つのあなたの手紙です。手が震えて書けない方は、口述して頂いても結構です。そして日頃思っていることも、手紙という形で多くの皆さん方にメッセージを送ってみませんか。

北海道認知症グループホーム協会は、あなたの思い、残しておきたい想いを応援します。

【手紙はこのような内容で如何ですか】

- \*介護される方から介護をする方への手紙
- \*介護をする方から介護される方への手紙
- \*長年連れ添った大事な方へ
- \*子どもさん・お孫さんからお爺ちゃん・おばあちゃんへ
- \*お爺ちゃん・おばあちゃんから子どもさん・おまごさんへ
- \*日頃、歳を重ねた自分の想いを書いた手紙などなど



TEGAMI

## 3月12・13日 北海道グループホーム大会 開催!

道南ブロック・事業部会の中村です。大沼公園の紅葉も一段と色濃くなり、秋もだんだんと深まって参りました。ぜひ一度、足をお運びいただければ幸いです。

事業部会の役割として、1. SOSネットワークに関するアンケート、平成22年度SOSNT推進委員会アンケート、地域福祉活動支援、地域における公益的活動を支援します。その活動を3月12・13日開催の北海道グループホーム大会(場所:札幌 かでる2・7)にて予定発表致します。

北海道グループホーム大会では、家への手紙、私への手紙といった手紙コンテスト事業の実施、勤続10年の職員や会員継続10年の正会員への表彰し、それぞれの地域(ブロック)に実情に応じた認知症支援のシステムへの協力と参加、地域で行う研修会等において、それぞれの職種や事業形態を超えた活動を目指し、他の事業者団体との研修会の主催、共催関係を構築します。「人と人との関わり」がまさに危うくなりつつある現代の人間社会の中で敢て「手

紙という手段を使って、「何が大事なのか、ちょっと立ち止まってみよう」ということであろうと考え、「手紙 綴る広場」を募集しています。最終選考は11月下旬で、藤川幸之助先生に心に残る手紙を選んで頂き、会場で額に納め展示予定。参加者の手紙は冊子にして関係者にお配りすると共に、応募者にもお送り致します。

「手紙 綴る広場」共に、「やさしい地域づくり活動」を募集しています。あなたが、または事業所が取り組んでいる小さな小さな取り組みが認知症になっても安心して暮らすことができるやさしい地域づくりの一環となっています。公開方法は、北海道グループホーム大会で3活動を発表し、当協会のホームページで公開、広報誌でも紹介させていただきます。

また、長年に亘り、認知症共同生活介護の最前線で活躍している会員事業所職員の功績を讃え労い、今後の励みにと考え、創設いたしました。大会日にて表彰させていただきます。

### ●ブロック活動・予定など●

#### -十勝ブロック-

認知症介護実践研修が平成22年11月9日(火曜日)から11月12日(金曜日)、認知症対応型サービス事業管理者研修が平成22年12月1日(水曜日)から12月2日(木曜日)に開催予定となっております。

今後も研修だけではなく、学び合い・協力し合える環境を作り、更なるケアの質向上につなげられる様、取り組んで参ります。

※詳しいブロックの活動に関しては、当会ホームページの「各ブロック情報」をご覧ください。各ブロック事務局へお問い合わせください

#### -網走ブロック-

今年度の活動は、『認知症の人の心理とその支援』と題し、認知症介護研究・研修仙台センター長 加藤伸司先生のご講演を皮切りに、『実地指導マニュアル研修会』、『コーチング研修会・出来る部下を育てるために』を実施しています。

また、『地域に感謝の活動』として、いつも使わせて頂いている公園の清掃や街頭で認知症理解を深めて頂く為のリーフレット配布を管内の地域密着型サービス事業所からお集り頂いた皆さんと実施しています。その後はお楽しみ『スタッフ交流会・ボーリング&焼肉』で交流を深め、明日の活力を充電しました。